



## 2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社 サンデー 上場取引所 東  
 コード番号 7450 URL <http://www.sunday.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 暢朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 和嶋 洋 TEL (0178) 47-8511  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の業績 (2019年3月1日~2019年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	37,979	1.3	445	15.8	472	10.5	312	37.1
2019年2月期第3四半期	37,491	1.1	384	△53.3	427	△49.5	227	△61.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	29.01	28.89
2019年2月期第3四半期	21.16	21.08

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	35,362	10,712	30.1
2019年2月期	33,898	10,503	30.8

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 10,651百万円 2019年2月期 10,448百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2020年2月期	-	0.00	-	-	-
2020年2月期 (予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	2.3	370	112.6	400	73.6	120	230.5	11.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	10,770,100株	2019年2月期	10,770,100株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	1,023株	2019年2月期	1,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	10,768,757株	2019年2月期3Q	10,768,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については〔添付資料〕P. 2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(追加情報) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2019年3月1日～2019年11月30日）における東北地方の経済は、一部に持ち直しの動きがみられたものの、足踏み状態となっております。また、原材料・資材価格・人件費・物流費の上昇などに起因した食料品の値上げや消費税増税の影響を受け、一般消費者の購買マインドは生活防衛意識が高い状況が継続しており、個人消費は力強さを欠くものとなりました。

このような環境のもと、当社の既存店舗をこれまでよりも魅力のある店舗に活性化するため、品揃えと価格を変更する改装計画を策定いたしました。この計画に基づき、当第3四半期累計期間において4店舗（三沢南山店、花巻南新田店、東根中央店、山形北店）に100円ショップのダイソーコーナーを導入し、安さと面白さを提案できる店舗に変更いたしました。この変更を実施した結果、女性客や既存の客層より若い年代のお客さまの来店が増加し、計画を上回る実績となりました。また、八戸根城店においては八戸市で一般消費者から支持を集めている地元SMをテナントとして導入し、非食品と一緒に食品を購入できる店舗に変更いたしました。遠くの店舗まで行かなければ食品を購入できず不便を感じていた近隣にお住いの年配者を中心に大好評をいただいております。

一方、お客さまの利便性を向上させるために実施しているSUN急便（商品を宅配するだけでなくDIYアドバイザーの資格を持つ従業員が補修・修繕・取付まで実施するサービス）につきましては、多くの方々からリピーターとして何度もご注文いただくサービスに成長いたしております。また、青森県八戸市や岩手県久慈市と地域見守り協力事業に関する協定を締結し、地域に暮らす方々の異変を発見した際に行政と協力して迅速に対応できる体制を整備いたしました。

商品面では、消費者の節約意識や低価格志向に対応し低価格で訴求を続けた日用品やペット用品の販売が好調に推移いたしました。また、10月に実施された消費税増税の直前には電化製品、暖房用品、除雪機などの高単価商品が前年を上回る実績となりました。これらにより当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比101.3%と増収を達成いたしました。

販管費におきましては、労働力人口の減少に起因する人件費上昇やドライバー不足に起因する物流費上昇などの影響を受けておりますが、山形県内店舗の屋号変更や老朽化した店舗設備の修繕により投資が発生した前年同期間と比較して、店舗維持や修繕に係る費用を抑制することができました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における当社の売上高は379億79百万円（前年同期比4億87百万円の増）、営業利益は4億45百万円（前年同期比60百万円の増）、経常利益は4億72百万円（前年同期比44百万円の増）、四半期純利益は3億12百万円（前年同期比84百万円の増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に対して14億64百万円増加し353億62百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加3億12百万円、既存店活性化等に伴う商品及び製品の増加9億87百万円、受取手形及び売掛金の増加4億61百万円、建物売却及び減価償却等による有形固定資産の減少5億92百万円等によるものであります。

負債については、前事業年度末に対して12億55百万円増加し246億50百万円となりました。これは主に商品仕入増加と期末日が金融機関の休業日であったための手形未決済による支払手形及び買掛金の増加19億53百万円、未払法人税等の増加1億35百万円、流動負債その他（未払金、未払消費税等）の増加6億37百万円、短期借入金の増加3億30百万円、長期借入金の減少16億60百万円等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に対して2億9百万円増加し107億12百万円となりました。これは主に四半期純利益3億12百万円の計上と配当金の支払い1億7百万円等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期の業績予想につきましては、2019年4月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	650,187	962,520
受取手形及び売掛金	348,873	810,553
商品及び製品	10,471,127	11,458,389
原材料及び貯蔵品	72,582	86,791
その他	459,808	624,675
流動資産合計	12,002,578	13,942,930
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,495,347	7,096,790
土地	8,493,600	8,425,525
その他（純額）	2,237,739	2,111,998
有形固定資産合計	18,226,686	17,634,314
無形固定資産		
その他	69,133	70,624
無形固定資産合計	69,133	70,624
投資その他の資産		
その他	3,607,346	3,722,372
貸倒引当金	△7,634	△7,574
投資その他の資産合計	3,599,712	3,714,797
固定資産合計	21,895,532	21,419,736
資産合計	33,898,110	35,362,667
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,773,124	10,726,314
短期借入金	2,970,000	3,300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,214,400	2,214,400
未払法人税等	87,947	223,883
賞与引当金	324,872	289,719
その他	1,533,962	2,171,465
流動負債合計	15,904,306	18,925,784
固定負債		
長期借入金	5,312,900	3,652,100
退職給付引当金	244,939	218,695
資産除去債務	779,460	781,053
その他	1,153,290	1,072,623
固定負債合計	7,490,591	5,724,473
負債合計	23,394,897	24,650,257
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,241,894	3,241,894
資本剰余金	3,257,139	3,257,449
利益剰余金	3,946,389	4,151,115
自己株式	△1,231	△885
株主資本合計	10,444,192	10,649,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,387	2,297
評価・換算差額等合計	4,387	2,297
新株予約権	54,633	60,537
純資産合計	10,503,212	10,712,409
負債純資産合計	33,898,110	35,362,667

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年3月1日 至 2018年11月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）
売上高	37,491,635	37,979,228
売上原価	26,243,994	26,720,831
売上総利益	11,247,641	11,258,396
販売費及び一般管理費	10,863,048	10,812,850
営業利益	384,593	445,545
営業外収益		
受取利息	2,850	2,999
受取配当金	1,806	1,936
受取手数料	6,065	5,155
受取賃貸料	84,448	80,758
その他	48,976	22,357
営業外収益合計	144,147	113,208
営業外費用		
支払利息	47,987	47,973
賃貸費用	32,801	28,934
その他	20,657	9,710
営業外費用合計	101,446	86,618
経常利益	427,294	472,135
特別利益		
固定資産売却益	—	21,915
特別利益合計	—	21,915
特別損失		
固定資産売却損	—	8,074
固定資産除却損	29,618	—
特別損失合計	29,618	8,074
税引前四半期純利益	397,676	485,976
法人税、住民税及び事業税	270,643	246,512
法人税等調整額	△100,867	△72,949
法人税等合計	169,776	173,563
四半期純利益	227,899	312,413

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2018年3月1日 至 2018年11月30日）

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。